

# 平成23年度(2011年度)

## 日本生物教育会(JABE)第66回全国大会

# 愛知大会へのご案内

日本生物教育会会長 野 中 繁 (東京都立青梅総合高等学校長)  
 第66回全国大会実行委員長 石 黒 茂 (愛知県立杏和高等学校長)

日本生物教育会第66回全国大会が、平成23年8月、愛知県で開催されます。愛知県では3回目の全国大会となりますが、前回大会1971年(昭和46年)以来40年ぶりの開催であり、私たち実行委員は大会の成功を期して準備を進めているところです。

さて愛知県におきましては、平成17年に自然との共生をテーマとした愛・地球博(愛知万博)が開催され、平成22年度には本大会の主会場である名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されました。平成23年度の日本生物教育会第66回全国大会(愛知大会)におきましても、これらの趣旨を尊重しつつ、全国の皆様と生物教育の研究を深めて参りたいと思います。

本県は日本のほぼ中央に位置する肥沃な濃尾平野を有し、古くから日本の要衝として重要視された地域です。尾張・三河両地域とも豊かな自然に恵まれ、日本の礎を築いた有能な人材を多く輩出してきました。県庁所在地である名古屋市及びその周辺には、ラムサール条約に登録された藤前干潟や“常春の半島”と呼ばれるほど年間を通じて温暖な知多半島などがあり、自然の恩恵を満喫できます。また世界のサル学をリードする京都大学霊長類研究所(愛知県犬山市)の近隣では伝統的な鶴飼が行われるなど、生物の多様性と人間の叡智、科学技術との共生が実感できることと思います。

是非、多くの皆様に愛知大会への参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

### 《大会開催要項》

- 1 大会主題 「愛・知・未来の生物教育 ～多様性・共生そして科学技術～」
- 2 主 催 日本生物教育会 愛知県理科教育研究会高等学校部会生地部会
- 3 後 援 文部科学省 農林水産省 環境省 愛知県 愛知県教育委員会  
 (申請予定) 名古屋市 名古屋市教育委員会 愛知県私学協会 犬山市 犬山市教育委員会  
 知多郡南知多町 愛知郡長久手町
- 4 開催期日 **平成23年8月2日(火)～5日(金)**
- 5 主 会 場 名城大学 天白キャンパス (名古屋市天白区塩釜口1-501)  
 名古屋市営地下鉄鶴舞線「塩釜口/名城大学前」駅下車 徒歩約10分  
 ※交通アクセスはp.13およびp.14をご参照ください。
- 6 大会日程

日時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
2日(火)								全国理事会			
3日(水)	受付 8:30～	開会式 総 会	記念講演	昼食	プレシ ンポジ ウム	研究発表			移動	意 見 交換会	
						ポスターセッション・展示					
4日(木)	受付 8:30～	生徒 発表	シンポジウム		研修講座		A・Bコース(～5日)				
	ポスターセッション ・展示						C・Dコース				

7 記念講演 講師 幸島司郎 氏 (京都大学 野生動物研究センター 教授)

演題 「見たい！知りたいたい！分かってたい！」

～氷河生態系から熱帯雨林まで～

冷たい雪と氷の世界である氷河にも、実は昆虫やミミズ、ミジンコ、藻類、菌類、バクテリアなど、様々な生物が生息し、特異な生態系が成立していることが分かってきました。しかも、氷河生態系の生物は、氷河の色を変えてその融け方を左右し、海面上昇や気候の変化など、地球規模の環境変動にも関わっているようなのです。真冬の雪の上で活動する不思議な昆虫との出会いから始まった私の研究は、その後、氷河生態系の研究へと発展しました。また、「どうしても野生動物を研究したい！」という奇抜な学生たちとの出会いから、イルカはどうやって寝るのか、ヒトやオランウータンやオオカミの顔形態、サイやマメジカの行動と生態など、数々のユニークな研究が始まりました。講演を通じて、不思議なこと、知りたいこと、わかりたいことを素直に追求する自由な学問が、いかに楽しく、重要で、結局は「役に立つ」ものであるかを理解していただけることを願っています。(講演要旨:幸島司郎)

- 8 研究発表 方法 口頭発表 ポスターセッション  
内容 ① 教材研究・実験観察に関するもの  
② 生物教育・指導法に関するもの  
③ 自然・環境教育に関するもの  
④ 学術的研究に関するもの
- 9 シンポジウム 内容 「新学習指導要領の趣旨を生かした生物教育」
- 10 展 示 個人及び団体の展示・発表  
各都道府県の教育活動、教材教具の販売
- 11 研修講座 Aコース (1泊) 犬山の霊長類と鶴飼コース  
Bコース (1泊) 知多半島の自然と文化コース  
Cコース (半日) 藤前干潟・名古屋港水族館コース  
Dコース (半日) リニモ体験と愛・地球博記念公園コース
- 12 大会参加費 6,000円 (研修講座にかかる費用は別途必要)  
生徒は、大会参加費が不要です。
- 13 意見交換会 日 時 8月3日 (水) 18:30～ (会費:6,000円)  
場 所 サッポロライオン 名古屋ビール園 浩養園  
(名古屋市千種区千種2-24-10)  
TEL : (052) 741-0211 FAX : (052) 733-9889
- 14 申込締切 **平成23年6月24日 (金)**  
以降は当日受付になります。

# 《研究発表・シンポジウム・展示》

## 1 研究発表について

### (1) 方法

#### A 口頭発表（教員）

- ① 教材研究・実験観察に関するもの
- ② 生物教育・指導法に関するもの
- ③ 自然・環境教育に関するもの
- ④ 学術的研究に関するもの

#### B 口頭発表（生徒）

- ・発表時間の都合から、愛知県内の高等学校に限定させていただきます。
- ・発表校は3～4校を予定しております。応募多数の場合は大会実行委員会で審査ののちに、発表校を決定します。

#### C ポスターセッション

- ・生物部や個人の研究、課題研究など（教員、生徒ともに申込可です。）

### (2) 時間

#### A 口頭発表（教員） 8月3日（水） 14:30～17:30

1発表あたり15分（質疑応答時間5分を含む）

※ただし、発表者の人数により、多少の変更をお願いする場合があります。

その際は、大会事務局よりご連絡申し上げます。

#### B 口頭発表（生徒） 8月4日（木） 9:00～10:00

1発表あたり15分（質疑応答時間5分を含む）

#### C ポスターセッション 8月3日（水） 12:30～17:30

8月4日（木） 9:00～11:45

### (3) 諸注意

#### A・B 口頭発表

- ① 発表の際、35mmスライド・OHP・VTR・プロジェクター・ノートパソコンを使用される場合は、申込書の記入欄に○印をお付けください。
- ② パソコン(Windows)はこちらで準備しますので、使用するアプリケーションとバージョンをお知らせください(例:PowerPoint2007等)。なおアプリケーションについては最新のバージョンが準備できるとは限りませんので、互換性のあるバージョンで保存してください(Microsoft Office 97～2003等)。Windows以外のパソコンおよび接続コードは各自でご用意ください。

#### C ポスターセッション

1発表につき、縦120cm×横180cm程度のパネルを1枚用意します。机・椅子も1セット準備します。ただし、パソコン・延長コード・画鋲・テープ等は各自でご用意ください。

### (4) 申し込み方法

p.5およびp.6の「研究発表申込書（教員）」または「研究発表申込書（生徒）」に必要事項を記入し、E-mailまたはFAXにてお送りください。申込先は(8)をご参照ください。

なお、申込用紙の書式はホームページよりダウンロードできます。

### (5) 研究発表要旨

次の要領で作成してください。

- ① 原稿はA4版縦の大きさと右の形式で1ページ以内にまとめてください。なお、書式はホームページからもダウンロードできます。
- ② 発表要旨原稿をそのまま印刷しますので白上質紙に文字（図・写真含む）を黒で鮮明に書いてください。
- ③ 原稿は郵送またはE-mailでお願いします。

	3.5cm	13.0cm
1.5cm	空白	発表タイトル
1.5cm	発表者の氏名	
21.5cm	発表要旨記入欄 (図・写真)	

- (6) 申し込み締め切り

**6月17日(金) 必着**

- (7) 研究発表要旨の締め切り

**6月24日(金) 必着**

- (8) 研究発表の申し込み先・発表要旨の送り先

愛知県立刈谷高等学校 川手 文男 宛

〒448-8504 愛知県刈谷市寿町5-101

E-mail kenkyuu-jabe2011@kariya-h.aichi-c.ed.jp

FAX 0566-25-9087 (発表要旨はできる限りE-mailでお送りください。)

## 2 シンポジウムについて

テーマ「新学習指導要領の趣旨を生かした生物教育」

- (1) プレシンポジウム 8月3日(水) 13:30~14:15

発表者 田代 直幸氏：文部科学省教科調査官

- (2) シンポジウム 8月4日(木) 10:00~11:45

コーディネーター 野々山 清氏：名城大学教授、日本生物教育会名誉理事

パネリスト 川上 昭吾氏：蒲郡生命の海科学館館長、前愛知教育大学教授、

元日本理科教育学会会長

山中 敦子氏：蒲郡生命の海科学館学芸員

畠 賢一郎氏：(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 常務取締役研究開発部長

寺田 安孝氏：愛知県立成章高等学校教諭

## 3 展示について

- (1) 時間

8月3日(水) 12:30~17:30

8月4日(木) 9:00~11:45

- (2) 展示の内容

用意するブースはポスターセッションに準じます。日本生物教育会各支部の活動の紹介や生物関連諸団体の展示等の場所を設けます。

1ブースにつき、縦120cm×横180cm程度のパネルを1枚用意します。机・椅子も1セット準備します。

ただし、パソコン・延長コード・画鋸・テープ等は各自でご用意ください。

- (3) 対象

日本生物教育会各支部、支部に関連する団体、業者

- (4) 申し込み方法

p.7の「展示申込書」に必要事項を記入し、E-mailまたはFAXにてお送りください。

なお、申込用紙の書式はホームページよりダウンロードできます。

- (5) 申し込み締め切り

**6月17日(金) 必着**

- (6) 展示の申し込み先

愛知県立刈谷高等学校 川手 文男 宛

〒448-8504 愛知県刈谷市寿町5-101

E-mail kenkyuu-jabe2011@kariya-h.aichi-c.ed.jp

FAX 0566-25-9087

# 研究発表申込書（教員）

都道府県名

ふりがな 氏 名				
勤務先	ふりがな 名 称			
	所在地	〒		
また は 自 宅	電 話	( )	FAX	( )
	携帯電話			
どちらかに ○を付けて ください	E-mail			
発表方法	A（口頭） C（ポスターセッション） A＋C（両方） いずれかに○印をつけてください			
発表区分	①教材研究・実験観察      ②生物教育・指導法 ③自然・環境教育          ④学術的研究 いずれかに○印をつけてください			
タイトル				
使用機器	スライド OHP VTR（VHSビデオ） プロジェクター パソコン（アプリケーション ) その他 ( ) 使用される機器に○印をつけてください			
備 考	その他 ご希望がありましたら、ご記入ください			

FAX 0566-25-9087 愛知県立刈谷高等学校 川手文男 宛

# 研究発表申込書（生徒）

都道府県名

所 属	ふりがな 名 称			
	所在地	〒		
	電 話	( )	FAX	( )
	E-mail			
顧問氏名				
生徒氏名 (人数)				
発表方法	<p>B（口頭） C（ポスターセッション） B＋C（両方）</p> <p>※ <u>口頭発表は愛知県内の高等学校に限定させていただきます。</u></p> <p style="text-align: right;">いずれかに○印をつけてください</p>			
タイトル				
使用機器	<p>スライド OHP VTR（VHSビデオ） プロジェクター</p> <p>パソコン（アプリケーション )</p> <p>その他 ( )</p> <p style="text-align: right;">使用される機器に○印をつけてください</p>			
備 考	<p>その他 ご希望がありましたら、ご記入ください</p>			

FAX 0566-25-9087 愛知県立刈谷高等学校 川手文男 宛

# 展示申込書

都道府県名

ふりがな 氏 名				
勤務先	ふりがな 名 称			
	また は	所在地	〒	
自 宅	電 話	(      )	FAX	(      )
	どちらかに ○を付けて ください	携帯電話		
	E-mail			
タイトル				
内 容				
備 考	その他 ご希望がありましたら、ご記入ください			

FAX 0566-25-9087 愛知県立刈谷高等学校 川手文男 宛

## 《研修講座》

### 【Aコース】

<p><b>A 犬山の霊長類と鶺鴒コース</b> (1泊2日)</p> <p>本コースでは、世界でも珍しい霊長類研究所、日本モンキーセンターの見学や実習、夜には伝統漁法木曾川鶺鴒と、アカデミックな体験をしていただきます。</p>	<p>定員 40名 (最小催行人数25名)</p> <p>参加費 [22,500円]</p>
<p>8月4日(木)</p>	<p>12:20 会場出発(バス内で昼食)→14:00 ①日本モンキーセンター到着(園内見学)→16:45 宿舎着、一度荷物を降ろす→17:30 ②鶺鴒乗船場にて乗船、夕食(船中食)→19:45 鶺鴒見学→20:30 宿舎に戻る(泊)</p>
<p>8月5日(金)</p>	<p>8:30 宿舎発→9:30 ③京都大学霊長類研究所(講義・施設見学)→同研究所で昼食(弁当配布)→13:00 ④日本モンキーセンター(講義・ワークショップ)→16:30 センター発→16:40 犬山遊園駅→18:00 名古屋駅着(解散)</p>
<p>宿舎</p>	<p>[犬山国際ユースホテル] 〒484-0091 犬山市大字継鹿尾字氷室162-1 TEL 0568-61-1111</p>
<p>愛知県の最北部に位置する城下町犬山は、国宝犬山城(現存する日本最古の天守閣)をはじめ観光都市として繁栄していますが、天然記念物ヒトツバタゴの自生地があるなど自然に恵まれた地域です。また霊長類については世界屈指の施設が2つもあり、ぜひ、ここ犬山で他では体感できない充実した研修をしていただきたいと思います。</p> <p>①1日目は、日本モンキーセンターを見学します。園内に飼育されている、世界最多の約70種900頭のサルたちをできるだけ数多く観察します。ここでの観察が、翌日のワークショップの重要な《予習》になります。</p> <p>②木曾川沿岸の峡谷は、その風景がヨーロッパのライン川に似ているところから「日本ライン」と呼ばれており、上流では「日本ライン下り」が行われるなど自然豊かな川です。夏の風物詩として日本の伝統漁法鶺鴒が行われ、約1,300年前から受け継がれた鶺鴒の衣装、漁法をお楽しみください。鶺鴒がおこなわれる日没までは船上で木曾川の自然を満喫することができます。</p> <p>③2日目は、まず京都大学霊長類研究所に向かいます。本研究所は、チンパンジーの「アイ」とその子どもの「アユム」をはじめ、高度な知能を有する霊長類の研究で有名です。「アイ・プロジェクト」などで彼らを用いて研究をなされている松沢哲郎教授の講演や施設見学を予定しています。</p> <p>④日本モンキーセンターでは、サルについての講義の後、実物の骨格標本を使ったワークショップを行います。バックヤードツアーや獣医さんのお話も計画しています。前日の《予習》を十分にしておくことで、有意義なワークショップになること間違いありません。多種類のサルの全身骨格標本を直接手にとっての研修となります。</p>	
<p>注意事項 ◎1日目の昼食は含まれておりません。(別途ご用意下さるか参加申込時に注文して下さい)</p> <p>◎暑さ対策をお願いします。乗り物酔いなど常備薬はできるだけ各自をお願いします。</p> <p>◎京大霊長研の松沢先生から、次の3冊を一読してから参加してもらいたいと指示が出ています。「新しい霊長類学」(京都大学霊長類研究所編、講談社ブルーバックス)、「おかあさんになったアイ」(松沢哲郎著、講談社学術文庫)、「人間とは何か チンパンジー研究から見えてきたこと」(松沢哲郎編、岩波書店)。なお、松沢先生は研究所長のため、突発的な公務が入った場合にはご講演いただけないこともあります。</p> <p>◎申し込み前に、<a href="http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm">http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm</a>で変更点や注意事項などを確認して下さい。</p>	



リスザル(日本モンキーセンター)



木曾川鶺鴒



学習するアユム君(実際の実習の見学はできません)



【Bコース】

<p><b>B 知多半島の自然と文化コース</b> (1泊2日)</p> <p>本コースでは、海あり丘陵地ありのコンパクトな自然～知多半島を巡り、磯の生物観察から湿地観察を行います。また、知多の醸造についても見学していただきます。</p>		<p>定員 40名 (最小催行人数25名)</p> <p>参加費 [20,000円]</p>
8月4日(木)	12:20 会場出発(バス内で昼食)→13:50 宿舎着・準備→①荒磯松海岸にて磯の生物観察会→②宿舎にて講演：「愛知県におけるアサギマダラ調査」	
8月5日(金)	8:30 宿舎発→9:00 ③化石採集→10:40 ④南知多ビーチランド見学等・昼食→13:30 ⑤壱町田湿地→15:00 ⑥酔の里→17:00 名古屋駅着(解散)	
宿舎	[まるは食堂本店] (温泉あり) 〒470-3412 愛知県知多郡南知多町豊浜字峠8 TEL 0569-65-1315	
<p>知多半島は県庁所在地である名古屋の南に位置し、南北に長さ約40km・幅5～14kmの半島です。「常春の地」とよばれており、年間を通じて穏やかな気候に恵まれています。半島部全域に海拔数十m前後の丘陵地が続き、南部では海岸近くまでこの丘陵地が迫っています。日当たりがよく潮風を含んだ風が当たるため独特の植物相が見られるのも知多半島の特徴です。</p>		
<p>①南知多町豊浜は多種の海産物が水揚げされる漁港としても有名です。この漁港にほど近い「荒磯松海岸」は、伊勢湾の中でも潮の流れが速く、生物相が豊かな海岸です。他県にも知られるメジャーな観察地でもあります。なお当日は中潮で、干潮のピークは14:50となります。</p>		
<p>②長距離の渡りをする蝶として知られているアサギマダラについての講演をしていただきます。ここ知多半島から2000kmに及ぶ移動記録もでており、アサギマダラにどのように関わってきたかについての大変に興味深いお話です。</p>		
<p>③知多半島先端部は地質的には「師崎層群」とよばれ、新第三系中新統(1500～2000万年前)に属します。露頭部が各所にあり、キララガイ、チタスナモグリ、タヌキブクなどの化石を手軽に、また運がよければシロウリガイの化石も採集することができます。</p>		
<p>④南知多ビーチランドは愛知県でも有数の水族館施設です。大型水槽が設置されており、伊勢湾・三河湾で特徴的なスナメリの飼育も行われています。ウミガメの飼育・保護にも力を入れており、バックヤード見学では施設観察もでき、ウミガメに触れることもできます。</p>		
<p>⑤壱町田湿地は天然記念物に指定されているコンパクトな湿地帯です。知多半島の中央部あたりに位置する、丘陵地帯にあり、周囲をフェンスで囲うことで貴重な植物群落を保護しています。一般公開日は年に数回と限定されています。湿地の自然環境は、クロマツなどの樹木が周辺を囲み、中央部では湿地の源となっている低温弱酸性の湧出水が流れています。国内稀産のシロバナナガバノイシモチソウと東海地区特産種であるヒメミミカキグサをはじめモウセンゴケ・トウカイコモウセンゴケ・各種ミミカキグサなどの食虫植物の他、東海地方伊勢湾周辺特産のシラタマホシクサが見られます。当日は一般公開日ではありませんが特別に踏査観察が可能です。</p>		
<p>⑥「酔の里」は知多半島の中央に位置する半田市にある、日本でも唯一の「酔の総合博物館」です。知多半島は昔から味噌・醤油・日本酒などの醸造が盛んな地でもあります。醤油やたまりなど有名ですが、全国CMでも有名なミツカンには実は半田市に本社があります。酔をテーマにした博物館で発酵に関する知識を深めることができます。</p>		
<p>注意事項 ◎1日目の昼食は含まれておりません。(別途ご用意下さるか参加申込時に注文して下さい) ◎2日目は南知多ビーチランドで各自で昼食をおとり下さい。(参加費には含まれていません) ◎「磯の生物観察会」では箱メガネ・バット・磯金は用意しますが、その他必要な物品がありましたら各自でお持ちください。 ◎暑さ対策は各自でくれぐれもお願いします。 ◎申し込み前に、<a href="http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm">http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm</a>で変更点や注意事項などを確認して下さい。</p>		

【Cコース】

<p><b>C 藤前干潟・名古屋港水族館コース</b> (半 日)</p> <p>本コースでは、ラムサール条約に登録された藤前干潟における野鳥の観察や、名古屋港水族館のバックヤード見学をしていただきます。</p>	<p>定員 40名 (最小催行人数25名)</p> <p>参加費 [5,000円]</p>
<p>8月4日(木)</p>	<p>12:20 会場出発(バス内で昼食)→13:20 藤前干潟到着→稲永ビジターセンター見学→自由散策→14:30 藤前干潟出発→15:00 名古屋港水族館到着→バックヤード・館内見学→16:30 名古屋港水族館発→17:20 名古屋駅着(解散)</p>
<p>藤前干潟は、たくさんの渡り鳥が飛来する国際的な湿地として、2002年に「ラムサール条約」に登録されました。「ラムサール条約」は特に水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地及びそこに生息する動植物の保全を進めることを目的とする国際条約です。この干潟は、1981年に名古屋市が藤前干潟を一般廃棄物の最終処分場とする計画を発表したあと、市民による保全活動が始まり藤前干潟保全の世論が高まった結果、名古屋市が計画を断念したという経緯をもつたいへん貴重な場所です。今年のCOP10においても生物多様性保全の観点から、この藤前干潟は話題となりました。干潟の環境保全や情報発信の中心施設である「稲永ビジターセンター」でDVDによる解説を受けた後、自由散策を行います。真夏の時期なので、渡り鳥の観察には適していませんが、ミサゴやカワウ、カルガモなどが観察できることと思います。</p> <p>名古屋港水族館は、北館と南館に分かれ、北館では「35億年はるかなる旅 ～ふたたび海に戻った動物たち」と題した鯨類の展示、そして3000人が収容できるスタンドをもつメインプールでは、のびのびと泳ぐイルカたちの自然そのもののダイナミックな動きや、いきいきとしたパフォーマンスを楽しむことができます。南館には、日本の海から深海ギャラリー、赤道の海、オーストラリアの水辺、南極の海といった5つの水域があり、熱帯魚の泳ぐ水中トンネルや人工雪の降るペンギン水槽などが人気です。また、名古屋港水族館は1995年、日本で初めて屋内の人工産卵場に産卵されたアカウミガメの人工ふ化に成功しています。今回は、そのカメ類研究繁殖施設も見学いたします。</p>	
<p>注意事項</p> <p>◎昼食は含まれておりません。(別途ご用意下さるか参加申込時に注文して下さい)</p> <p>◎暑さ対策と虫よけスプレーをご用意ください。(藤前干潟で散策する場合必須です)</p> <p>◎申し込み前に、<a href="http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm">http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm</a> で変更点や注意事項などを確認して下さい。</p>	



【Dコース】

<p><b>D リニモ体験と愛・地球博記念公園コース</b> (半 日)</p> <p>本コースではリニアモーターカーの浮上を実感できる体験乗車と、愛・地球博記念公園での自然体験プログラムの体験や、映画『となりのトトロ』に登場するサツキとメイの家の見学をしていただきます。</p>	<p>定員 40名 (最小催行人数25名)</p> <p>参加費 [5,000円]</p>
<p>8月4日 (木)</p>	<p>12:20 会場出発(バス内で昼食)→13:10 藤が丘駅到着、リニモ乗車(貸切りリニモ)体験→ 14:00 愛・地球博記念公園前駅到着、バスでモリコロパークへ移動→ 14:15 モリコロパーク(自然と親しむプログラムの体験、サツキとメイの家の見学)→ 17:00 モリコロパーク出発→18:00 名古屋駅着(解散)</p>
<p>日本の真ん中に位置する愛知県は、自動車産業や航空宇宙産業主要メーカーの生産拠点が集中する一方、豊かな自然も残っており、県内のさまざまな地域で農林水産業も盛んです。2005年に開催された日本国際博覧会(愛・地球博)は「自然の叡智」というテーマのもと、自然の仕組みと調和した新しい文明を構築することを目指して、愛知郡長久手町で開催されました。本コースはその跡地を訪ね、万博のテーマを再確認できる内容となっています。</p> <p>「愛・地球博」会場へのアクセス方法の一つとしてリニアモーターカーによる路線(リニモ)が整備されました。この路線は万博終了後の現在でも市民の足の一つとして利用されており、全国唯一のリニアモーターカーによる本格的な路線として知られています。本コースではそのリニモを貸し切って「藤が丘駅」から「愛・地球博記念公園駅」まで乗車します。普段は無人運転のリニモですが、当日は乗務員と一緒に乗るので、リニモにまつわる話を聞きながら「急加速」や「着地・浮上」が体験できます。是非、乗車してご自分の目と体でリニモの凄さを体験してください。</p> <p>リニモを降りると広大な敷地を持つ公園が見えます。愛・地球博長久手会場跡地です。現在、万博の理念と成果を引き継ぐ「愛・地球博記念公園」(愛称:モリコロパーク)として市民に広く開放されています。リニモの次に皆さんに体験していただくのは、公園内の施設「もりの学舎」のインタープリターによる自然体験プログラムです。公園内の自然を使ったゲームを通じて、身近な環境や生態系について気づかせるためのコツを学ぶことができます。このプログラムを体験すると、普段見ている身近な公園や校庭が違う視点で見られるようになり、授業の導入でどのように生徒と自然とを向き合わせるか、そのコツがつかめます。2学期からの授業のネタが増えること間違いなしのこの体験、楽しみにしていただければと思います。</p> <p>公園内には、自然と人が優しく接していた時代を描いた映画、『となりのトトロ』に登場するサツキとメイの家があります。コースの最後に見学する予定です。万博開催時は大人気の施設でした。当時見学できなかった人も今ならゆっくり楽しめます。また季節によって演出を変えているため、以前見学した方もまた違った雰囲気を楽しめるかもしれません。</p>	
<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎昼食は含まれておりません。(別途ご用意下さるか参加申込時に注文して下さい)</li> <li>◎暑さ対策と虫よけスプレーをご用意ください。(自然体験プログラムは屋外での体験です)</li> <li>◎乗り物酔いなどの常備薬 ◎カメラ(リニモ・サツキとメイの家の記念撮影用に)</li> <li>◎申し込み前に、<a href="http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm">http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm</a>で変更点や注意事項などを確認して下さい。</li> </ul>	



リニモ



もりの学舎



サツキとメイの家

## 《大会参加・意見交換会・宿泊・弁当・研修講座参加の申し込み》

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、「日本生物教育会第66回全国大会」が愛知県において開催されるにあたり、大会に参加される皆様のご宿泊等の手配を、日本旅行名古屋教育旅行支店が担当させていただくことになりましたので、ここにご案内申し上げます。

つきましては、下記の内容をご一読いただき、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 期 日：平成23年8月2日（火）～8月5日（金） 4日間
- 2 会 場：名城大学 天白キャンパス（名古屋市天白区塩釜口1-501）
- 3 意見交換会会場： サッポロライオン 名古屋ビール園 浩養園  
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-10  
TEL：(052)741-0211 FAX：(052)733-9889  
※会場（浩養園）への移動は名城大学より往路のみ無料送迎バスが利用できます。  
公共交通機関をご利用の場合は、JR中央線/地下鉄鶴舞線鶴舞駅より徒歩約15分です。  
鶴舞駅と浩養園間は無料シャトルバスが運行（1時間に3本）しています。  
詳細は大会当日に、別途ご案内いたします。

### 4 お申込みについて

お申込み方法	p.15「参加申込書」に必要な事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
お申込み締切	<b>平成23年6月24日（金）</b>
お申込み先	FAX：052-204-1225（株式会社 日本旅行 名古屋教育旅行支店）
お問い合わせ先	TEL：052-211-5335 FAX：052-204-1225 受付時間：平日9:00～17:30（土日・祝祭日は休業日とさせていただきます） 担 当：児玉 成子（コダマ ヨシコ）、矢野 寿尚（ヤノ ヒサナオ）
発送・お支払い	大会約3週間前に、宿泊券等を発送いたします。その際、請求書を同封させていただきますので指定期日までにご入金いただきますようお願い致します。
お振込み先	振込銀行口座：みずほコーポレート銀行 十五号支店 口座名義：株式会社 日本旅行 口座番号：普通 3107243 （カタカナ入力の場合 カ）ニホンリョコウ） ※ 恐れ入りますが、振り込み手数料はお客様負担をお願い致します。

- (1) 大会参加費：6,000円
- (2) 意見交換会参加費：6,000円
- (3) **ご宿泊のご案内**：大会の日程に合わせて、下記のようにホテルを設定させていただきました。  
宿泊期間：平成23年8月2日（火）～平成23年8月3日（水）の2泊  
宿泊料金（お一人様あたり）：1泊朝食付・消費税・サービス料を含みます。

ホテル名	部屋タイプ	申込記号	宿泊料金	備考
伏見モンブランホテル	S(シングル)	い	6,900円	地下鉄伏見駅より徒歩2分
ホテルウイングインターナショナル名古屋	S(シングル)	ろ	7,800円	地下鉄丸の内駅より徒歩1分
名古屋クラウンホテル（天然温泉）	S(シングル)	は	8,200円	地下鉄伏見駅より徒歩5分

- ・各ホテル客室数に限りがありますのでご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。
- ・配宿は先着順に行ないますが、やむを得ず他のホテルの区分になる場合もございますので、申込書には第3希望までご記入ください。

- ・ツインご希望の方は「その他連絡事項欄」に同室希望者名とツイン希望とご記入ください。ツインのお部屋は、お申し込みをいただいてからの手配となりますので、ご希望に添えない場合もございます。

#### (4) 昼食のご案内

名城大学内の食事施設が利用できます。また周辺にも食事施設がありますので、原則として昼食の注文はお受けいたしません。ただし、研修講座に参加される方はバス内昼食となりますので必要な方はお弁当をご注文ください。弁当はバス内でお渡しいたします。

- ・取扱日 : 8月4日 (木)
- ・弁当代金 : 1食1,000円 (お茶付)

#### (5) 研修講座

- ・参加ご希望の方は、申込番号を別紙申込書にご記入ください。メールアドレスの記載もお願いいたします。(受講の可否や、注意事項の連絡等に使用いたします)
- ・各コースとも定員がありますので、申込書には**第2希望以下**をご記入ください。ただし、第2希望以下に回っても良い方だけ、第2希望以下をご記入下さい。
- ・申し込みは、先着順とし、研究発表の締め切り日(6月17日)で、一次締切して決定します。その段階で、ホームページに申込み状況(「受け付け終了」「余裕あり」など)を掲載します。その後は、随時決定していきます。**前日・当日の申し込みは受け付けません**。
- ・各コースとも、申し込み前に、<http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htm>で変更点や注意事項などを確認して下さい。また直前まで連絡事項や変更点などを更新いたしますので、随時ご確認下さい。

コース名	コース内容	お一人様代金	定員	最小催行人員
Aコース	犬山の霊長類と鶉飼コース (1泊)	22,500円	40名	25名
Bコース	知多半島の自然と文化コース (1泊)	20,000円	40名	25名
Cコース	藤前干潟・名古屋港水族館コース (半日)	5,000円	40名	25名
Dコース	リニモ体験と愛・地球博記念公園コース (半日)	5,000円	40名	25名

\*代金には、4日(木)の昼食代は含まれておりません。昼食を注文された方の弁当はバスに積み込まれます。

- ・研修講座の問い合わせ先: [kenshuu-jabe2011@asahigaoka-h.aichi-c.ed.jp](mailto:kenshuu-jabe2011@asahigaoka-h.aichi-c.ed.jp)

(愛知県立旭丘高等学校 西郷 孝)

#### (6) お申込み後の変更・取消について

ご変更やお取消が生じた場合は、ただちにFAXでご連絡ください。

##### 【取消料】

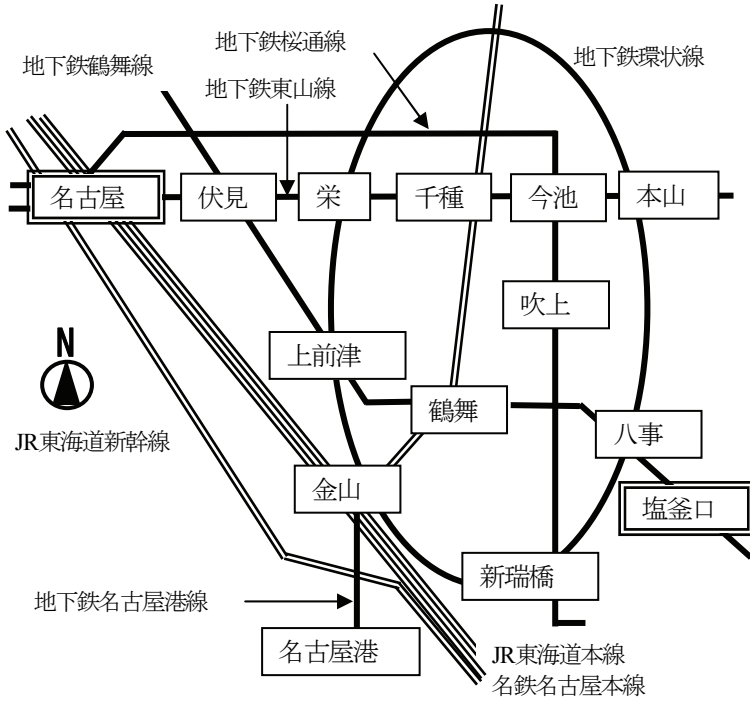
14日前以前	13日～4日	3日目～前日	当日
無料	30%	50%	100%

- 上記日数は、各利用日の前日から起算した日数です。但し、それぞれの期限となる日が土・日・祝日となる場合は、その前の平日を期限日とさせていただきます。
- ご変更やお取消のご連絡がない場合は、取消料がかかりますので充分ご注意ください。
- 宿泊に関するご変更やお取消は、**直接ホテルではなく、必ず日本旅行名古屋教育旅行支店までFAXにてご連絡ください。**
- ご変更やお取消に伴う払い戻しの際の振込手数料は、払戻金より差し引かせていただきます。

#### 《大会会場アクセス》

大学構内に一般用駐車場はありません。**必ず公共交通機関をご利用ください**。名古屋駅より地下鉄のご利用でおよそ35分です。**荷物の搬入等で車の乗り入れを希望される場合は、大会事務局へご相談ください**。大学へ直接問い合わせることはご遠慮ください。

【名古屋市内 地下鉄・鉄道概略図】 JR中央線

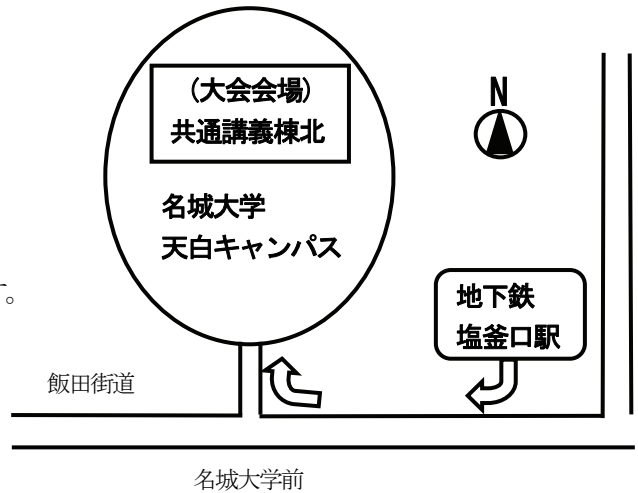


※ 会場へは地下鉄をご利用ください。

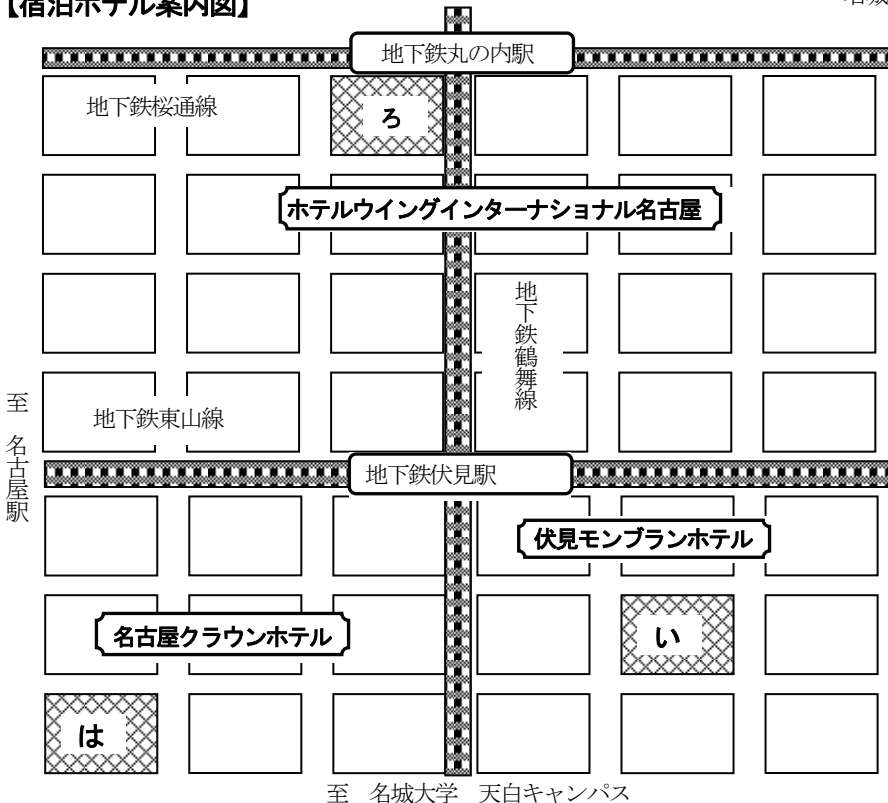
- ① 新幹線ご利用の場合  
名古屋駅（名古屋市営地下鉄東山線 藤が丘方面）→伏見駅（乗換・鶴舞線 赤池方面）→塩釜口／名城大学前駅下車
- ② 中部国際空港ご利用の場合  
名鉄空港線中部国際空港駅（名古屋方面）→金山駅下車→金山駅（乗換・名古屋市営地下鉄名城線 右回り）→上前津駅（乗換・鶴舞線 赤池方面）→塩釜口／名城大学前駅下車
- ③ JR中央線ご利用の場合  
JR鶴舞駅下車→鶴舞駅（乗換・名古屋市営地下鉄鶴舞線 赤池方面）→塩釜口／名城大学前駅下車

【大会会場案内図】

※ 地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前駅」下車  
1番出口を右折 名城大学前信号交差点を右折坂を上った最深部の共通講義棟北が大会会場です。  
(地下鉄出口より徒歩約10分)



【宿泊ホテル案内図】



※ 地図は概略図です。詳細はクーポンと同時に送付する各ホテルの案内をご覧ください。

# 日本生物教育会第66回全国大会愛知大会 参加申込書

〈 新規・追加・変更・取り消し 〉 ※申込区分…いずれかを○で囲んでください。

※ 会員・生徒共用です。ただし、生徒の大会参加費は不要です。

平成 年 月 日 申込日

所属先(学校名)	勤務地都道府県		〒	送付先住所(会社名・ビル名もご記入ください。)	TEL	TEL
申込責任者 氏 名				( 職場・自宅 )どちらかを○で囲んでください。	FAX	FAX
氏 名				E-mail等(できるだけご記入ください)		

番号	(フリガナ) 氏 名	性別	年齢	大会 6,000円	意見 交換会 6,000円	宿 泊				研修講座(p13の注意事項をご確認ください)				その他連絡事項 (同室希望者名)			
						第1希望	第2希望	第3希望	泊 数	宿泊 開始日	泊 数	第1希望	第2希望		第3希望	第4希望	弁当 1,000円
例	アイチ タロウ 愛知 太郎	男	45	○	○	い	ろ	は	2	8/2	2	A	B	C	D	○	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	

※参加申込はこの用紙をFAXしてください。FAX以外の申込はできません。

【記入方法】

- 各項目はp12~13を参考にして、申込記号を記入の上お申し込みください。研修講座に参加される方は8/4の弁当を申し込んでください。ホテルの同室希望者がおられる方は「その他連絡事項(同室希望者名)」欄にその方のお名前もご記入ください。
- お申し込みや変更の通知の際は上記申込区分欄の「新規・追加・変更・取り消し」のいずれかを丸で囲んでください。
- 送付先住所には請求書・予約券などの送付希望先をご記入ください。また、電話番号は日中連絡の取れる番号をご記入ください。
- 支払後の取り消しなどで返金が生じた場合は、申込責任者の銀行口座を確認後、当社から振込にてご返金いたします。その際、振込手数料はお申し込み頂いた方の負担となります。
- 研修講座に参加される方は特にE-mailをできるだけご記入ください。
- いただきました個人情報に関しては、当大会の目的以外には使用しません。

連絡先: TEL 052-211-5335

お申し込みFAX番号 052-204-1225

株式会社 日本旅行 名古屋教育旅行支店

担当: 児玉 成子(コダマ ヨシコ)、矢野 寿尚(ヤノ ヒサナオ)

当社記入欄[回答・メッセージ]

《問い合わせ先》 (可能な限りE-mailかFAXでお願いします。)

【大会事務局】

愛知県立津島北高等学校 担当：柳生 真澄 (ヤギユウ マスミ)  
〒496-0819 愛知県津島市又吉町4丁目1番地  
E-mail jimukyoku-jabe2011@tsushimakita-h.aichi-c.ed.jp  
TEL 0567-28-3414 FAX 0567-28-7191

【研究発表・ポスターセッション・展示】

愛知県立刈谷高等学校 担当：川手 文男 (カワテ フミオ)  
〒448-8504 愛知県刈谷市寿町5-101  
E-mail kenkyuu-jabe2011@kariya-h.aichi-c.ed.jp  
TEL 0566-21-3171 FAX 0566-25-9087

【研修講座】

愛知県立旭丘高等学校 担当：西郷 孝 (サイゴウ タカシ)  
〒461-0032 名古屋市東区出来町3-6-15  
E-mail kenshuu-jabe2011@asahigaoka-h.aichi-c.ed.jp  
TEL 052-721-5351 FAX 052-723-6825

【参加申込・宿泊】

株式会社 日本旅行 名古屋教育旅行支店 担当：児玉 (コダマ)、矢野 (ヤノ)  
TEL 052-211-5335 FAX 052-204-1225



平成23年度(2011年度)

日本生物教育会 (JABE)

第66回全国大会愛知大会実行委員会

【大会URL】 <http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/>